

事務事業名	自衛隊協力会連合会参画事業 ☐ 実施計画事業		所属部局	総務部		単位番号	3041								
			所属課室	総務課		課長名	小池正之								
			所属担当	総務選挙担当		担当者名	澤口政彦								
基本政策	基本計画体系 I 06 11	情報と連携の都市づくり 安全な環境づくり 安心できる市民生活の実現	予算科目	会計	名称	款	項	目	細目	細々目					
			01	一般	0	2	0	1	1	2	0	2	0	0	2
政策															
施策															
事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始年度 年度) 期間限定複数年度 (年度) ~ 年度)		法令根拠	自衛隊法97条・地方自治法67条											
事務事業の概要	事業の内容・・・期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載 この事業は、自衛官の募集等について、自衛隊山梨地方協力本部に協力することを目的として実施している。			事業費の主な内訳 (22年度)											
				項目(細節)		金額(千円)		項目(細節)		金額(千円)					
				分担金		10									
								計		10					

1 現状把握(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 活動	
22年度活動実績	募集にたいしての情報交換
23年度活動予定	前年度と同じ
② 対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	
募集該当市民	
③ 意図(この事務事業により対象をどのような状態にしていけるのか、どのように変えるのか)	
市民に自衛隊の活動等を理解してもらい、自衛隊への関心を深めることにより、募集活動に繋げる。	
④ 上位目的(どのような結果に結び付けるのか)	
自衛官の応募者の増加	

⇒ ⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア 総会・情報交換	回
イ	
ウ	
⇒ ⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア 該当人口	人
イ	
ウ	
⇒ ⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア 相談件数	件
イ	
ウ	
⇒ ⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア 応募者数	人
イ	

(2) 事業費・指標の推移				単位	21年度 (決算・実績)	22年度 (決算見込・実績)	23年度 (予算・目標)	24年度 (次年度計画・目標)	25年度 (計画・目標)	26年度 (計画・目標)	最終年度 (トータルコスト・目標)
年間 トータル コスト	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円							
			県支出金	千円							
			地方債	千円							
			その他	千円							
			一般財源	千円	10	10	10	10	10	10	
	事業費計 (A)			千円	10	10	10	10	10	10	0
	人件費	正規職員従事人数	人	2	3	3	3	3	3		
		延べ業務時間	時間	3	3	3	3	3	3		
		人件費計 (B)	千円	13	13	12	12	12	12	0	
		(A)+(B)			千円	23	23	22	22	22	0
活動指標		アイウ	回	4.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0		
		アイウ	人	7,676.0	7,670.0	7,670.0	7,670.0	7,670.0	7,670.0		
対象指標		アイウ	件	12.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0		
		アイウ	人	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0		
成果指標		アイウ	人								
		アイ	人								
上位成果指標		アイ	人								
		アイ	人								

(3)この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

① この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか？	法律に基づいて、自衛隊の依頼により旧町村時代から実施している。
② 事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べてどう変化しているか？また、今後の予測は？	経済状況の悪化により、就業が厳しくなってきたので、自衛官の募集は希望者が増加している。また、震災の影響等により、今後もしばらくは増加傾向が想定される。
③ 事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか？	なし

(4) 改革改善の取り組み状況

① 改革改善の取り組み実施は？	☐ 取り組みしている ⇒【内容！】 ☒ 取り組みしていない ⇒【理由！】
② これまでの改革改善の取り組み状況・経過(取り組みしていない場合はその理由)	自衛隊法97条・地方自治法67条の規程により、実施しなければならないため。
③ H 22年度に実施した改革改善の内容	なし

事務事業名	自衛隊協力会連合会参画事業	所属部	総務部	所属課	総務課
-------	---------------	-----	-----	-----	-----

2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？ 意図が上位目的に結びついているか？	☐ 結びついていない(見直し余地がある) ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 結びついている ⇒【理由↓】 雇用対策として、未就労者の削減に繋げる。	
	②公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？ 民間やNPOに委ねることは可能か？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 妥当である ⇒【理由↓】 自衛隊法97条・地方自治法67条の規程により、実施しなければならないため。	
	③維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 適切である ⇒【理由↓】 今後も自衛官増員は必要であるため、募集相談員の地域に根ざした募集活動を通し自衛官の増員に繋げる。	
有効性 評価	④成果の向上余地 事務事業のやり方・進め方を変えることで成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	☐ 向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 向上余地がない ⇒【理由↓】 自衛隊山梨地方協力本部南アルプス募集センターの募集業務に、若干の事務的な協力だけである。また、現状では、これ以上の事業協力はできない。	
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることはできるか？	☐ 類似事務事業がある ⇒(類似する事務事業の名称を記入↓) ☐ 統合・連携ができる ⇒【理由と具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☐ 統合・連携ができない ⇒【理由↓】 ☒ 類似事務事業がない	
	⑥休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	☐ 影響なし ☒ 影響あり ⇒【理由と影響の内容↓】 法律で定められている。	☐ 休止・廃止ができる ☒ 休止・廃止できない ⇒【理由↓】 法律で定められている。
効率性 評価	⑦事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	☐ 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 削減余地がない ⇒【理由↓】 自衛隊からの委託費の配分を受けている中で、最小限の分担金のみ支出であり、これ以上の削減は不可能。	
	⑧人件費の削減余地 成果を下げずに人件費を削減できないか？(事業のやり方・見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	☐ 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 削減余地がない ⇒【理由↓】 総務課担当職員のみが、協力事務を最小限で行っているため、これ以上の削減は不可能。	
公平性 評価	⑨受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 公平・公正である ⇒【理由↓】 市民の未就職者が対象であるため公平である。	

3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について) ・自衛隊法97条・地方自治法67条の規定により実施しなければならない。
① 目的妥当性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ② 有効性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ③ 効率性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ④ 公平性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり	

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)・・・複数選択可	(3) 改革・改善による方向性																						
☐ 廃止(目的妥当性①、②、③の結果) ☐ 事業統合・連携(有効性⑤の結果) ☐ 公平性改善(公平性⑨の結果) ☐ 休止(目的妥当性①、②、③の結果) ☐ 成果向上(有効性④の結果) ☒ 現状維持(全評価項目で適切) ☐ 必要性検討(目的妥当性①、②、③の結果) ☐ コスト削減(効率性⑦、⑧の結果)	<table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト水準</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果水準</th> <th>向上</th> <td>☐</td> <td>☐</td> <td>☐</td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td>☐</td> <td>☒</td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td>☐</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> ※ 廃止・休止の場合は記入不要				コスト水準			削減	維持	増加	成果水準	向上	☐	☐	☐	維持	☐	☒		低下	☐		
		コスト水準																					
		削減	維持	増加																			
成果水準	向上	☐	☐	☐																			
	維持	☐	☒																				
	低下	☐																					
(2) 改革改善案について																							
①なし ② ③																							
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策	(5) 事務事業優先度評価結果																						
①なし ② ③	成果優先度評価結果	対象外																					
	コスト削減優先度評価結果	対象外																					